

令和7年度 事後評価シート

【事務事業シート】

当初,2
月補正

1	事 項	ひめボス宣言事業所魅力化支援事業費						予算主管課	少子化対策・男女参画課		
	事 業 概 要	女性活躍や仕事と家庭の両立支援に取り組む「ひめボス宣言事業所」の拡大や学生への浸透を図るとともに、奨励金の支給等により事業所の取組を促進する。						始期	2023		
								終期	2028		
	K P I	愛媛県の女性の平均勤続年数									
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
		R 4 年 度		目標値	11.1 年	目標値	11.4 年	目標値	11.7 年	目標値	12 年
		実績値	9.3 年	実績値	10.2 年	実績値	10.3 年	実績値	10.8 年	実績値	年
		ストック /フロー	ストック	達成率	91.9 %	達成率	90.4 %	達成率	92.3 %	達成率	%
		コ ス ト		最終現計 予算額	63427 千円	最終現計 予算額	77346 千円	最終現計 予算額	304149 千円	最終現計 予算額	千円
				決算額	62042 千円	決算額	70774 千円	決算額	142949 千円	決算額	千円
						繰越額	150110 千円	繰越額	千円		
							不用額	11090 千円	不用額	千円	
	7 年 度	要因分析	要因 令和5年度よりリニューアルしたひめボス宣言事業所認証制度における、令和7年度末の基本認証企業数は966社、より高いレベルで実績を上げた上位認証（スーパープレミアム）企業数は37社となり、性別に関わらず誰もが働きやすく働きがいを持って就業継続できる企業が県内に広がりつつあり、KPIとしている女性の平均勤続年数は着実に伸びているものの、目標達成には至っていない。これは、根強く残る性別役割分担意識による女性への家事・育児負担の偏り等が影響し、結婚・出産や子育てを理由として退職や非正規雇用に転換する女性が依然として一定数存在していることが大きな要因であると考えられる。 総括								
見直し方向性		維持	引き続き、職員やひめボス推進アドバイザーの企業訪問によるひめボス認証事業所の拡大を図るとともに、令和8年度からは、ひめボススーパープレミアム認証要件を見直し、企業の課題を見る化するエンゲージメントサーベイの実施や働く女性同士のネットワーク化を支援する交流会の開催などを通じて、認証事業所の取組みを加速化させることとしているほか、特設サイト：ひめボスNAVIやSNSの活用、ジョブカフェ愛work、大学キャリアセンターとの連携などにより、若年層を中心とした求職者に対し認証事業所の取組情報を積極的に発信していくことで、更なる制度の浸透を図ることとしている。								

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

2

当初,2
月補正

事 項	ひめボス宣言事業所魅力化支援事業費								予算主管課		少子化対策・男女参画課	
事 業 概 要	女性活躍や仕事と家庭の両立支援に取り組む「ひめボス宣言事業所」の拡大や学生への浸透を図るとともに、奨励金の支給等により事業所の取組を促進する。								始期		2023	
									終期		2028	
K P I	育児休業取得率(男性)											
	KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度			
	R 4 年 度		目標値	40 %	目標値	60 %	目標値	80 %	目標値	80 %		
	実績値	14.3 %	実績値	28.5 %	実績値	49.6 %	実績値	42.1 %	実績値	%		
	ストック /フロー	ストック	達成率	71.3 %	達成率	82.7 %	達成率	52.6 %	達成率	%		
	コ ス ト		最終現計 予算額	63427 千円	最終現計 予算額	77346 千円	最終現計 予算額	304149 千円	最終現計 予算額	千円		
			決算額	62042 千円	決算額	70774 千円	決算額	142949 千円	決算額	千円		
							繰越額	150110 千円	繰越額	千円		
				不用額	11090 千円	不用額	千円					

7 年 度	要因分析	要因 令和5年度よりリニューアルしたひめボス宣言事業所認証制度における、令和7年度末の基本認証企業数は966社、より高いレベルで実績を上げた上位認証（スーパープレミアム）企業数は37社となり、奨励金や上位認証の要件に男性育児取得促進を取り入れ、県内企業においても、男性育児への機運が高まりつつあるものの、育児取得職員に係る代替職員の配置が難しい企業もあることや、家事・育児は女性が担うものという性別役割分担意識が未だ全世代に根強く残っていることから、目標達成には至っていないと考える。一方で、最新の調査では、取得期間1か月以上の割合が大きく増加し、44.4%と過去最高となるなど、男性の育児参加を後押しする社会的な機運醸成は着実に進んでいると考えられる。											
		総括											
	見直し方向性	維持	引き続き、職員やひめボス推進アドバイザーの企業訪問によるひめボス認証事業所の拡大を図るとともに、令和8年度からは、ひめボススーパープレミアム認証要件を見直し、企業の課題を見る化するエンゲージメントサーベイの実施や働く女性同士のネットワーク化を支援する交流会の開催などを通じて、認証事業所の取組みを加速化させることとしているほか、特設サイト：ひめボスNAVIやSNSの活用、ジョブカフェ愛work、大学キャリアセンターとの連携などにより、若年層を中心とした求職者に対し認証事業所の取組情報を積極的に発信していくことで、更なる制度の浸透を図ることとしている。										

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

3

当初

7 年 度	事業概要	事項	家事参画・育休支援事業費						予算主管課		少子化対策・男女参画課	
			家事・育児の負担が女性に偏っている現状に対し、家庭内の家事シェアを推進するとともに、育休取得や家事参画をサポートする立場の親、上司世代も含めた、社会全体の意識変容を促し、仕事と家庭の両立支援を後押しする。						始期	2024		
									終期	2025		
	K P I	休日の男性の家事・育児時間										
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度		
			R 4 年 度	目標値	2 時間	目標値	3 時間	目標値	4 時間	目標値	時間	
		実績値	時間	実績値	3.4 時間	実績値	3.3 時間	実績値	3.48 時間	実績値	時間	
		ストック /フロー	ストック	達成率	170 %	達成率	110 %	達成率	87 %	達成率	%	
		コ ス ト		最終現計 予算額	千円	最終現計 予算額	14553 千円	最終現計 予算額	11900 千円	最終現計 予算額	千円	
	決算額			千円	決算額	14043 千円	決算額	11378 千円	決算額	千円		
					繰越額	千円	繰越額	千円				
					不用額	522 千円	不用額	千円				
要因分析	要因 令和6年度時点で目標としていた「休日の男性の家事・育児時間」3時間以上は達成し、目標を上方修正したところであるが、男女ともに根強く残る性別役割分担意識による女性への家事・育児負担の偏りの解消にはいたっていないと考えられ、前年度（3.3時間）と比較して微増するにとどまった。											
	総括 男性の家事参画及び育休取得促進に向け、意識変容を促す取組みを実施したところ、県内企業の男性の育休取得率は法改正の後押しもあり令和5年の28.5%から42.1%に増加、男性の家事・育児時間は令和6年度の目標は達成し、目標値を上方修正したところ微増にとどまった。若い世代が当たり前とする「共働き・子育て」を実現できる地域づくりのためには、子育て世代をサポートする親・上司世代も含めた幅広い年代を対象とした啓発の強化が必要であることから、令和8年度からは、「結婚・子育てに温かいえひめづくり気運醸成事業費」に代替え、特設サイト及びSNSでの情報発信において、記事コンテンツの充実や発信方法の工夫を図るとともに、引き続き、男性の家事・育児スキルアップに係る交流会や全世代を対象とした理解促進イベントを開催するほか、新たな啓発媒体による情報発信を行うなど、男性の家事参画・育休取得支援に向けた取組みを拡充して実施する。											
見直し方向性												

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

4

当初

事 項	男女共同参画社会づくり推進事業費										予算主管課		少子化対策・男女参画課	
事 業 概 要	県民大会や地域ミーティング等を実施することで男女共同参画社会づくりを強力に推進するとともに、男女共同参画会議及び男女共同参画推進委員の運営等を行う。										始期		2002	
											終期			
K P I	男女の地位が平等と感じる人の割合													
	KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度				
		R 4 年 度		目標値	85 %	目標値	85 %	目標値	85 %	目標値	85 %			
	実績値	72.9 %		実績値	68.8 %	実績値	74.6 %	実績値	68.5 %	実績値	%			
	ストック /フロー	フロー		達成率	80.9 %	達成率	87.8 %	達成率	80.6 %	達成率	%			
	コ ス ト			最終現計 予算額	2026 千円	最終現計 予算額	3870 千円	最終現計 予算額	2286 千円	最終現計 予算額	千円			
				決算額	1770 千円	決算額	2549 千円	決算額	996 千円	決算額	千円			
							繰越額	千円	繰越額	千円				
							不用額	1290 千円	不用額	千円				

7
年
度

要因分析

要因

男女共同参画に関する県民大会等では多くの県民が参加し機運の醸成を図ることができた。また、ひめボス認証企業の拡大等により県内企業における女性活躍や仕事と家庭の両立支援の機運が高まっているほか、国における男性の育休取得促進に向けた法改正や男女間賃金格差解消に向けた取組みも加速化しているが、KPIは昨年度から下降した。これは、男女の地位が平等か「わからない」と答えた人の割合が5.3ポイント増えたことが影響していると考えられる。なお、依然として「社会通念や慣習・しきたり」や「政治」等の分野においては、男性の方が優遇されていると感じている女性の割合が高い状況は続いており、根強く残る性別役割分担意識やアンコンシャスバイアスが影響し目標達成には至っていないと考える。

総括

見直し方向性

維持

男女共同参画社会の実現に向けては、固定的な性別役割分担意識の解消や男性の家事育児参画の促進により、一層の女性活躍の推進が重要であることから、令和6年度に実施した世論調査や、令和8年3月に国において策定された第6次男女共同参画基本計画を基に、令和8年度執行においても、引き続き第3次計画の見直しを図り、各種施策にも反映していくことで、県全体として男女共同参画の推進へ取り組んでいく。

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

5

当初,2 月補正	事 項	男女共同参画センター管理委託費						予算主管課		少子化対策・男女参画課	
	事 業 概 要	男女共同参画センターの指定管理及び事業に要する経費						始期		1987	
								終期			
	K P I	男女共同参画に関する研修等の受講者満足度									
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
		R 4 年 度		目標値	90 %	目標値	90 %	目標値	90 %	目標値	90 %
		実績値	93 %	実績値	93 %	実績値	97 %	実績値	96.9 %	実績値	%
		ストック /フロー	ストック	達成率	103.3 %	達成率	107.8 %	達成率	107.7 %	達成率	%
		コ ス ト		最終現計 予算額	83522 千円	最終現計 予算額	143743 千円	最終現計 予算額	178126 千円	最終現計 予算額	千円
				決算額	83489 千円	決算額	142801 千円	決算額	94971 千円	決算額	千円
				繰越額	83123 千円	繰越額	千円				
						不用額	32 千円	不用額	千円		
7 年 度	要因分析	要因									
		総括									
	見直し方向性	維持	KPIについては目標を達成する見込みであるが、人口減少対策においても、女性活躍推進や男女共同参画社会の実現は重要であることから、研修内容等について更にブラッシュアップを図り、ニーズに合った効果的な講座を開催することで、より一層の社会全体の意識変容と機運醸成に取り組む。								

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。